

新年特集号：謹賀新年

会長新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
新しい年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。
本年の干支は「未」です。未の由来は「草木の果実がいよいよ熟し丁度滋養溢れた状態になる」との意です。未年の方は、家族の安泰と財テクの才を持つといわれ性格は穏やかで人情家だそうです。
さて私どもの地域は環境に恵まれ、世代間交流の盛んな地域でもあります。地域の福祉にかかわる私どもとしても町内会・自治会、学校、ボランティア団体等の皆様と連携してイベント等を通じ更なる人々の交流を充実する所存です。
微力ではございますが未来をみすえた街づくりに取り組んでまいりたいと考えております。本年も皆様方の温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年元旦

上郷西地区社会福祉協議会 会長 塚本 忠志

第28回

栄区社会福祉大会

が平成26年11月21日

(金) 栄区役所新館4階で開催

されました。第1部においては、多年にわたり地域福祉活動に携わってこられた方々の功績に対し感謝の意を表し、第2部においては区内でおこなわれている様々な福祉保健分野の活動を紹介するものです。今年度は第1部において上郷西地区社協前会長の平岩正安さま、またボランティアグループたんぽぽ代表大森真由美さまのおふたりが福祉団体自主活動功労者として表彰されました。これまでの活動にお礼申し上げるとともに、これからも地域、区域また市域と広く活動・活躍して下さることを願っております。改めておめでとうございます。



第3期（平成28年～32年）栄区地域保健計画の概要【第二回】



昨年発行の第44号社協だより（平成26年10月1日発行）にも掲載致しましたがその後の活動状況についてご報告致します。

現在「上郷西地区支え合い・つながるプラン推進会議」では【子どもたちの未来のために】～みんなで考える意見交換会～でご意見・ご提案頂いた160項目についてテーマ分けに取り組み【安全・安心】、【地域活動・環境】、【健康づくり】の3大項目を設定して、第3期計画のスローガン作りに着手しております。本年はいよいよ第3期に向けてより具体的活動内容が決まると思います。

上郷西地区皆様には都度情報発信していきます。

「私達の住み慣れた町で、安心して暮らしていくため」皆様も一緒に取り組んでいきましょう！

上郷西地区社会福祉協議会

会長 塚本 忠志

賑やかに 第12回ぬくもり

穏やかな陽射しに包まれた師走の日曜日、12月21日、第12回ぬくもりを開催しました。

お客さまの出足も良く、用意した食券も1時間ちょっとで完売。まずはレストランに向かう人。

昆虫講座、輪ゴムプレスレット、石鯨デコパージュの各体験コーナーに並ぶ人。ポッチャ会場では初企画のトーナメント戦も開かれ、熱気あふれる1日となりました。ボランティアネットのメンバーによるミュージックベルの演奏は短期間の練習にもかかわらず上々の出来。横浜栄どじょっこ会によるどじょうすくい、会場の笑いを誘い、公田学童くぬぎ、どんボラ、どじょっこ会の銭太鼓は、それぞれの味でお客様を楽しませてくれました。

上郷小学校3年生のまるでステンドグラスのような作品をはじめとする展示物も、素敵なものばかりでした。すべてを紹介できないのがとても残念です。また今回、上郷中学校福祉委員会11人の方にお手伝いいただきましたが、礼儀正しくまたてきぱきとした動きには称賛の声があがっていました。

ぬくもりはイベント、展示など多くの人の協力を得て開催しております。どうぞ出店・出展希望などお申し出ください。お待ちしております。なお栄えある第1回ポッチャトーナメントはサロン・かみの勝利でした。やってみないと分からないポッチャの楽しさ。第2回トーナメントを含め第13回ぬくもりは3月15日(日)に開催いたします。(ぬくもり実行委員長 宮地和子)

● 布アート



● 手作りコーナー



● 着物リメイク



● エプロンおじさんと昼食



● どんぐり布リース



● 昆虫講座



● 初参加 NFの会



● 横浜栄どじょっこ会



● 公田学童くぬぎ



● ポッチャ



● ミュージックベル



● どんボラ



ぬくもりのマスコットデザインと名前を募集しています。お問い合わせ
893-2220 宮地へ

ニューライラック訪問記

12月19日約束の午後1時、部屋からはいいにおいと笑い声。中へ入るとちょうど食事がおわり、デザートタイムでした。それでも「スープが残っているわ、召し上がって」と温めてくださいました。

「今日は冬瓜をもってきてくださったので・・・」と予定メニューが変わったそうです。いただいたデザートのシフォンケーキの酸味も参加者ご持参のししゆずとのこと。季節の料理を作り、食し、話して、笑い、交流する。費用は材料費だけ。主婦を対象に手作りのパンとお料理の会「ニューライラック」を主宰するのは中西良子さん。「ボランティアをして、ボランティアされているの」と語る中西さんは着物のリメイクもします。(第12回ぬくもりで展示しました)。物静かな雰囲気の中西さんの「どこにそんなパワーがあるの?」と感じたのは私だけでしょうか。

ニューライラックは地域活動版ハンドブック(食編)登録団体です。(記 宮地)



第2回「かみごう☆子どもキラキラフェスタ」開催報告

第2回かみごう☆子どもキラキラフェスタは、木々の紅葉も見られ始めた「11月9日(日)」に上郷地区センターで開催致しました。テーマは【地域の親子が食&イベントを通じて一日を楽しむ】参加者は延べで2,100名と大盛況でした。

《イベント会場》～体育室～

今回は、開会時に「新保西連合町会会長」、「吉田東連合町会会長」、「吉田上郷中学校校長」「小泉上郷小学校校長」の紹介からスタート、特に「着ぐるみ」の宮内さん(上郷小学校PTA会長)の見事な司会で会場は大いに盛り上がりました。

オープニングは元気な「ぴーひゃらどん」による和太鼓演奏でスタート

- ①上郷小学校特別合唱クラブのコーラス 今年のできは一段とレベルアップしていた。
- ②HKG★HIP HOP DANCE 今年は迫力がまし第1低学年～第4高学年に素晴らしいダンスで会場は興奮状態でした。
- ③真打は上郷キラキラバンドの登場で見事な演奏と観客を巻き込んだ演出に会場は最高潮に達した状態でした。

上郷キラキラバンドが終わり会場が落ち着いた頃に区役所から尾仲区長、塗師課長、守田課長がお見えになり、区長から励ましのお言葉がありました。

①

②

③



当日の天気予報は雨で朝から雨が降っている状況で、実行委員はじめ関係者の「雨よ降るな」祈りが通じたのか、奇跡的に天気が回復するという幸運に恵まれた開催でした。

(記 子ども会連絡協議会会長 塚本)

福祉講座《大地震に備える》

去る11月4日に、桂台地域ケアプラザにおいて「大地震に備える」講座を開催しました。栄区人口12万5千人の防災を支える行政のインフラは、①栄区区役所職員280人②消防署員数117人③救急車3台④消防車数8台⑤消防団の小型車台数11台です。この少ないインフラで被災者を少なくするためには、まず自分や家族の安全を確保し「自助」その上で、隣近所や地域の安否確認や救助などの支援「共助」を広げていく事の重要さが必要です。そのための、日頃の備えや、災害時の対応など実習を交え、学びました。日頃、笑顔であいさつの出来る近所付き合いを大切に、「備えあれば憂いなし」をキーワードに被害の軽減に努力したいとおもいます。沢山のご参加有難うございました。（担当：張戸、原田）



平成27年3月の福祉講座の案内

講座名：介護保険いろいろ

介護の認定申請、介護度の診断方法、ケアマネジャーの選定と依頼方法など、知っているようで知らないことなどを、わかりやすく説明します。今は必要なくても、時期が来たら受けていてよかったですと思える講座です。

日時：平成27年3月13日（金）13:30～15:30

会場：野七里地域ケアプラザ（1F）

参加費：100円

募集人員：50名（要予約・どなたでも参加できます）

協力：野七里地域ケアプラザ



お申し込みとお問い合わせは

張戸：☎ 894-3538

原田：☎ 892-3065

「区社協賛助会員募集」のお礼

平成26年度栄区社会福祉協議会の賛助会員募集の地区社協扱い分は38名、7団体にご協力いただき11月末日にて締め切らせていただきました。栄区社協取り扱い分を含め上郷西地区社協へは50%が還元されます。活動を進めるうえで今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

ありがとうございました。

編集後記

10月から12月にかけては、様々な行事が目白押しで、記事の選択に苦労しました。あれも伝えたい、これも周知したいと思い、編集しました。

秋のスポーツ大会、子供の行事も紹介したい。この限られた紙面で、伝えたいことは、地域の自治会、ボランティア団体、行政の協力などの、皆の力が結集して、初めて成功するものだと思います。

上郷西地区は、高齢化が進み、企画、実行する役員・担当の年齢も例外ではありません。ある自治会は、餅つき大会でのつき手が少なく苦労しているのが現実です。もっと若い人が参加できるような方策はないだろうか？世代間のギャップが埋まるような行事はないだろうか？本当の福祉とはなんだろうか？

世代間交流を目的とした「サロンぬくもり」も12回の開催になり、地道な努力を重ねています。しかしながら高齢者、少年少女の参加に偏りがちで、中堅どころの参加が少ないのが現状ですが、この広報を通じ、地域に少しでも貢献できれば幸いです。（編集者：川上）